

# 開成の杜

第106号 ●2018年6月12日 ●郡山女子大学大学院 ●郡山女子大学 ●郡山女子大学短期大学部 ●郡山女子大学附属高等学校 ●郡山女子大学附属幼稚園

●発行所／学校法人郡山開成学園 〒963-8503 郡山市開成3丁目25番2号 ☎ 024 (932) 4848 (代) <http://www.koriyama-kgc.ac.jp> ●発行人／学園長 関口 修



学園前の紅八重しだれとせせらぎこみち

(撮影 山口郁生)

## 恥を知り、自己を知る



理事長・学園長  
関口 修

古来、人間にとって自分自身とは、どのような人間なのかを知ることは極めて困難な課題であるとの意識が神話や言伝えにみられます。

神代の物語によれば、天照大神が人間の自我と欲深さを嘆き、天の岩戸に隠遁してしまつたことで、地上が暗黒の闇に包まれ、諸々の神々を困らせ、人々も塗炭の苦しみに陥らせたとか。神々は天照大神の怒りを鎮めるために岩戸の前で神楽を演じ、天照大神の御出座しを願つたとの話があります。

この物語は、人間が私利私欲に奔り、人間としての道義を忘れてはならぬとの伝えに他ならない筈でしょう。他にも、様々な地方に昔話が存在し、人間として生きる道標となつて来ました。

幼い子どもを「餓鬼」と呼び、悪いことをすれば「鬼」が来るよとの童話は全国に見られます。日本には人間の数ほど鬼がいるのではないのでしょうか。

現代社会では鬼は節分にしか来ないようで、鬼との縁は疎遠になつてしまつていますが、鬼の存在を身近に感じる感性を大切にすべきではないでしょうか。

近頃の世相は個人中心の

思考形態が多様化し、誤つた民主主義による自由尊重思想による無責任な言論が社会の混乱を惹起しているようです。詭弁を聞いた鬼は何と申うでしょうか。自己の発言には責任が伴うことを忘れてはいけません。

知性と道徳の融合が求められていることを忘れてはならない人間性が求められます。

「人の振り見て我が振り直せ」と云う格言があることは誰しもが承知しているでしょう。此処で云う人の振りとは、単なる行為ではなく、行為に伴う品格を意味しています。軽率で下品な行いは自らの品性を阻害し、個人の価値を失います。

衣食たりて礼節を知るのが教養ある人間ではないのでしょうか。

如何に高学歴な人物であろうとも、物事の分別は不可欠なのです。分別とは人間として最低限の善悪を判断する能力です。自己の行為や言動が適切に相手に伝わっていることを認識できる能力です。感情に任せて言葉を操り相手を阻害すればハラスメントであり、犯罪行為となり自分の立場を失います。

恥を知ることが自己を大切にすることであり、相手を尊重することにもなります。

学生・生徒の皆さんには、「恥じらい」のある教養を会得し、深遠な知恵を備えた人を目指すよう期待します。

# 桜舞う春爛漫のよき日に 創立72周年記念式典を挙行

学校法人郡山開成学園の創立72周年を祝う記念式典が、4月22日、建学記念講堂で行われた。例年より早い桜の開花で、開成の杜は花びらが舞う春爛漫のよき日となった。教職員、学生、生徒1500人が集い、さらなる発展を誓った。式典では、郡山開成学園オーケストラの伴奏で「式典歌」を全員で歌い、72周年を迎えたことを喜び合った。



式辞を述べる関口修学園長

次いで、関口修学園長が式辞で

「建学の精神を理解し、それぞれの分野で専門の学問を修め、自分の夢に向かって努力し、地域の発展に寄与してほしい」と述べた。

続いて若者賛歌「吾子よ」を全教職員が高らかに歌い、「健やかに育て」とエールを送った。これに対し、学生が応答歌「青春の確かさを今」を合唱し、「大きく成長します」と応えた。

## 名誉教授の称号と感謝状が授与される

式典の中で、3月に退職された2人の先生に名誉教授の称号



名誉教授の称号と感謝状を授与



若者賛歌「吾子よ」を歌う教職員

## 永年勤続者表彰

式典では永年勤続者表彰も行われ、関口修理理事長・学園長から記念品と金一封が15人に贈られた。受彰者を代表して宗形盛夫さんが決意を述べた。受彰者は次の通り。(敬称略)

- 【勤続30年】
  - 宗形 盛夫 (高校)
  - 渡辺 泰夫 (高校)
  - 熊田 伸子 (大学)
  - 和知 剛 (事務局)
- 【勤続20年】
  - 岡田 早苗 (事務局)
  - 安田 英夫 (事務局)
- 【勤続10年】
  - 山形 敏明 (大学)
  - 柳沼 和子 (大学)
  - 河村 陽子 (高校)



表彰された皆さん

## 平成30年度 第1回教養講座

### 「宇宙飛行士 毛利さん講演」

式典終了後、創立72周年記念、平成30年度第1回教養講座が行われ、宇宙飛行士の毛利衛さんが「素晴らしい地球人を育てるために」と題して講演した。



講演する毛利衛氏

## 齋藤美保子 短大副学長誕生

郡山女子大学短期大学部 副学長として 齋藤 美保子



抱負を語る齋藤美保子短大副学長

現在の短大に私は3つの使命を感じております。1つは、実際に社会で働くときに役に立つ知識を2年間で身につけさせ、若い人たちが勇気づけて世に送り出すことです。2つ目は既に働いている社会人に新たな知識、技能を伝えるリカレント(学び直し)教育です。そして3つ目が生涯学習です。本学は生涯学習講座、国際交流語学講座でも30年の歴史を持ちますが、高齢化に伴い、定年後に哲学や芸術などをじっくりと学びたい、教養教育を、という声は高まる一方です。

希望者が漸増していることが挙げられる。今後も、一人でも多くの生徒が希望する進学先に合格することができるよう、適宜情報を提供し、面談を重ねるなど細やかな進学指導を進めたい。

就職においても、昨年度は就職活動を行った生徒は概ね希望する企業から内定を頂くことができた。今後も希望職種とのマッチングを慎重に見極めて就職指導を進めたい。

今年度も附属高校として、キャリア教育を推し進めつつ、生徒の未来を拓くべく進路指導を行っていきたい。

## 平成29年度 附属高校進路先一覧 平成30年3月31日現在(在籍115名)

●大学 37名	
進路先	人数
郡山女子大学	6
福島大学	3
奥羽大学	1
神奈川大学	1
鎌倉女子大学	1
群馬パース大学	1
駒澤大学	1
聖徳大学	1
城西国際大学	1
洗足学園音楽大学	2
仙台大学	2
中京学院大学	1

●専門学校 18名	
進路先	人数
今泉女子専門学校	1
太田看護専門学校	1
郡山健康科学専門学校	1
国際アート&デザイン大学校	4
国際医療看護福祉大学校	1
国際ビューティーファッション製菓専門学校	1
国際ペット専門学校	1
つくば国際ペット専門学校	2
東京医科大学霞ヶ浦看護専門学校	1
東京スクールオブミュージック&ダンス専門学校	1
東北動物看護学院	1
日本調理技術専門学校	1
福島医療専門学校	1
横浜ビューティーアート専門学校	1

●就職 9名	
進路先	人数
一般財団法人太田総合病院	2
株式会社楽々本舗	1
株式会社栄楽館ホテル華の湯	1
郡山ビューホテル株式会社	1
シダックス株式会社	1
ジョイ商事	1
山喜株式会社工場	1
ライオン菓子株式会社	1

●短大 47名	
進路先	人数
郡山女子大学短期大学部	40
宇都宮短期大学	1
国際学院埼玉短期大学	1
埼玉医科大学短期大学	1
桜の聖母短期大学	1
実践女子大学短期大学部	1
昭和音楽大学短期大学部	1
福島学院大学短期大学部	1



## 平成29年度 附属高校における進路状況について

# 大学・短期大学部同窓会の 奨学生認定式行われる

「学校法人郡山開成学園 郡山女子大学同窓会奨学金制度・学校法人郡山女子大学短期大学部同窓会奨学金制度」の奨学生認定式が5月31日に行われ、大学3人、短



奨学生認定を受けた皆さん

大8人の計11人に認定証が贈られた。

【大学】	人間生活学科	1年	荒川 美風
	食物栄養学科	1年	鈴木 静羽
	同	2年	大和田理恵
【短大】	健康栄養学科	1年	岩崎 千春
	幼児教育学科	1年	吉田 華澄
	地域創成学科	1年	近内 萌花
	幼児教育学科	1年	大山 美咲
	同	2年	近内 優花
	同	2年	内山田美咲
	同	2年	加藤 里奈
	同	2年	熊田 千夏

## 就職部

平成29年度の就職状況は大学100%・短大99・6%になっている。

求人数も昨年より増えて、就職活動しやすい状況であった。毎年、早朝から就職活動する学生と、出遅れてしまう二極化の傾向がある。各料の専門や関連分野に就職した割合は各料により異なるが、大学食物栄養学科や幼児教育学科では9割を



学内企業説明会が行われた

超えている。県内の就職は、大学が約6割、短大は8割になっている。将来を見据え自身自身で意思決定していく事は大切である。

就職部では昨年11月から1月まで実施した個別面談結果を基に、職場開拓を進め、またアフターケアでは、今年就職した学生の就職先への御礼と新卒の状況把握も含め、各料就職委員、アドバイザーにも協力依頼をして、就職先の訪問を5月から10月までの期間で実施する。企業では、社会人基礎力の一つである「考え抜く力」課題解決力、計画力、創造力等が求められている。環境変化の時代こそ、自らの価値を高め、個人の考え方が大切になり「自分はどうありたいか」を真剣に考え前向きな姿勢で行動してほしい。大学生活の充実が、将来のキャリアにもつながる。就職活動は、企業を知る、人と出会って社会を知る、情報を得ながら自分を知る絶好の機会でもあり、多くの友と学び支え合いながら、就職活動を楽しんでほしい。

## 環境コミュニケーション 大賞で優良賞受賞

優れた環境報告書や環境活動レポートなどを表彰する「第21回環境コミュニケーション大賞」の環境活動レポート部門で、本学園が優良賞を受賞した。(環境省、一般財団法人・環境フォーラム主催)

本学は1996(平成8年)年度から環境活動を開始した。今回はエコマインド(高い環境問題意識)を持った学生、生徒の育成、節電による二酸化炭素(CO2)排出量の削減などの取り組みが評価されたもの。表彰式は東京で2月に行われた。緑川洋一環境委員会副委員長は、「これを機に環境保全に邁進します」と語った。

## 方部別教育懇談会 本年度日程決まる

教育の充実を目指して、学園長をはじめ本学教員と保護者が懇談する方部別懇談会は、今年も6月24日(日)から開催されることが決まった。

懇談会では、家族会会長の挨拶、学園長による学園教育の基本方針について、また、教務部、学生生活部、就職部の各担当からの説明が行われることになっている。

また、個人面談では大学・短大アドバイザーや高校クラス担任と、より具体的な話し合いが予定されている。例年どの会場でも真剣な懇談風景がみられ、今年も実りある成果が期待されている。

- 本年度の日程は次の通り。
- 6月24日(日) 北東北方部会 南東北方部会
- 7月1日(日) 郡山方部会
- 7月15日(日) 福島方部会 会津方部会
- 7月16日(日) 県南方部会

## 特集 研修紀行 大学・短大

### 【京都・大阪 研修旅行に参加して】 大学・食物栄養学科 渡邊 有美

京都研修では全員で京都の伝統菓子でもある八つ橋づくりを体験しました。自らの手で生地から作ることで、とても貴重な体験ができました。市内を小グループごとにタクシー研修も行いましたが、京都の文化や実際に住んでいる人に直接触れることができ、日本の歴史の重さについて改めて学ぶ事ができました。2日目のUSJでは、スタッフの方々の細やかな気遣いがとても印象的でした。3日間の研修旅行を通してその土地ならではの街並みや食を楽しむ事ができ、食に対する関心が更に深まりました。

また、今後の学校生活において視野を広げて生活していきたいと思っていました。



京都・八つ橋庵にて

### 【幼児教育学科の研修旅行】 短大・幼児教育学科 佐藤 琴季

幼児教育学科の研修旅行は、3月6日(9日(3泊4日)の神戸・京都・大阪方面でした。1日目は神戸の北野異人館街を散策し、異国情緒溢れる素敵な雰囲気を感じることができました。2日目は京都の光明幼稚園と嵯峨幼稚園を視察しました。そこでは子どもたちの可能性を引き出す教育・保育、様々な子育て支援などについて講



神戸・北野異人館前にて

話を頂きました。この学びを今後の保育・教育実習に生かして行きたいと思えます。3日目はユニバーサルスタジオオジャパン(USJ)で友人との交流を深めました。4日目は海遊館・バックヤード見学などを通して海の生き物たちの生態を学び、その可愛らしさや神秘性を感じました。楽しく有意義な研修旅行でした。

### 【文化学科最後の研修旅行】 短大・文化学科 橋本 麻奈実

私たちは2月の末に京都・奈良・大阪を巡りました。初日は会津藩にゆかりのある京都の金戒光明寺に赴き、鳥羽伏見の戦いで散った方々へ持参した線香を灯し、菩提を弔いました。2日目は朝に京都御所を見学し、その後は班別の自主研修に移り京都の町を散策しました。3日目は奈良で、この研修旅行の大イベントのお水取りを見学しました。暗闇の中で燃える松明を僧侶たちが一人で抱えて歩き、火の粉をまき散らす様は正にダイナミックでした。文化学科としての最後の研修旅行でしたが、どの日も充実した日程で学ぶことも様々ありました。この旅行で学んだことを活かしていきたいです。



法隆寺 五重塔と金堂

### 【ごはんも美味しい金沢】 短大・生活芸術科 千葉 陽誉里

私たちは2月下旬、金沢へ2泊3日の美術研修旅行に行ってきました。金沢城や兼六園、妙立寺など金沢を代表する名所や美術館をたくさん見学し、歴史ある街並みや芸術作品に触れることができ有意義な時間を過ごしました。金沢21世紀美術館ではジャネット・

大学・短大では、今年も各学科の特徴を生かした研修旅行を行った。学んだ新しい知識や世界観はこれからの学習に大いに役立つことでしょう。

カーティブ&ジョージ・ビュレス・ミラーの展覧会が開催中で、音響と映像を融合させた不思議な空間に浸ることができ、斬新な芸術の形に刺激を受けました。和菓子づくり体験では、繊細な職人技を前に、日本の伝統文化の奥深さを知るよい経験となりました。最終日はあいにく悪天候でしたが、とても充実した旅行になりました。



長町武家屋敷にて

### 【食物栄養専攻の研修旅行】 短大・家政科食物栄養専攻 高野尾 嶺

1年生と2年生生合同で東京・神奈川県方面へ行きました。テーブルマナー研修では、洋食をデザイン「アット・ザ・テーブル」ミセス・ドイツのテーブルマナーレッスン、和食を宿泊したホテルで体験しました。食事の際の周囲への配慮についても学ぶことができ、マナーに対する知識を深めることができました。食品産業では、キッコーマン野田工場見学、他、日清カップヌードルミュージアムで体験することができました。栄養士、フードスペシャリストとしての視野を広めることができ、将来を考える良い機会になりました。



日清カップヌードルミュージアムにて

# 大学院・大学・短大・専攻科 満開の桜に迎えられ368名が入学

郡山開成校が満開となった4月5日、郡山女子大学大学院修士課程第25回、郡山女子大学第53回、郡山女子短期大学第69回、短期大学部専攻科の合同入学式が、建学記念講堂で行われた。

郡山開成学園オーケストラが、「すべての宝にまざる宝」を演奏した後、大学院修士課程3名、大学91名、専攻科2名、短期大学部272名の計368名に入学が許可され、郡山女子大学の学生として、第一歩を踏み出した。

関口修学長は告辞の中で「入学おめでとう。これからは自己の目標に向かって勉学に励み、地域発展に寄与できる人間になってください」と述べた。続いて家族会会長、同窓会会長、在校生代表からの祝辞が述べられた。特に、幼稚園児代表の小原晟太郎君、斎藤みどりさんが「たくさんのお姉さんができてうれしい」と可愛い祝辞を述べ、緊張する新入生も思わず顔をほころばせた。

# 入学



多くの来賓が紹介された後、新入生を代表して、短大・幼児教育学科の渡邊柚芽理さんが「本学の学則を守り、その教育方針に従い、学生として学問と教養を備えた女性を目指します」と誓いの言葉を述べた。

**私が郡山女子大学を志願した理由**

私は将来、魅力ある建物を造る女性建築士になることが夢です。大学生活の4年間で建築に関する専門知識を養い、女性ならではの目線で建築と向き合いたいと考え、建築デザインコースを志願いたしました。建築デザインコースでは、建設現場見学会をはじめ、有名建築物に触れる機会も多く、沢山の事を経験できるチャンスがあります。私はチャンスを活かして様々な事に積極的に取り組み、夢を実現できるように見聞を広めたいです。

大学 人間生活学科 荒川 美風

**私が将来、魅力ある建物を造る女性建築士になることが夢です。**

私は将来、「患者さんに思いやりを持ってサポートできる病院の管理栄養士」という夢を叶えるため、食物栄養学科の入学を志願しました。4年間国家試験受験への専門的な勉学に励む中、様々な困難もあると思いますが、卒業するときの理想の自分を思い描き、強い志を持って頑張りたいです。また、私たち新入生は、一人一人の性格や趣味は異なりますが、「管理栄養士」という同じ意志が集まった仲間です。同じ道を歩むからこそ、個々の感情を共有して切磋琢磨し、友人と良好な人間関係を築きながら、充実した大学生生活を送りたいです。

短大 地域創成学科 齋藤 百望

**私は高校時代に授業を通して、地域の文化や職人の技術に触れ、地域活性化のために取り組んできました。**

そこから次第にもっと貢献していきたいと思うようになりました。地域創成学科は地域のことを学ぶことができ、さらに様々なジャンルの授業を学ぶことができ、できることから、どんな場面でも活躍できる女性になれる点にとても惹かれ、志願しました。

この2年間を決して無駄にせず、地域創成学科第一期生として恥じないように取り組んでいきたいです。

**私が附属高等学校を志願した理由**

私は、小学校1年生のときから剣道を続けています。昨年は、どの高校に進学するか悩みましたが、附属高校の体験入学に参加して、部活動や学校の楽しく明るい雰囲気に惹かれ、附属高校を志願しました。

私の夢はインターハイ全国大会に出場することです。そのために、部活動に精一杯取り組みたいので、勉強にも力を入れ、文武両道ができる生活に頑張ります。これから高校生活を充実させ、自分の夢をかなえられるように、たくさん努力していきたいと考えています。

附属高等学校 普通科 滝田 優菜

**私は、管理栄養士になりたいという夢があります。**

この夢を実現させるため、食について基礎から学びたいと思い、附属高校の食物科を志願しました。食の大切さや様々な年代の方々に合った食事について学び、たくさんの人を笑顔にできる料理を作れるようになりたいと考えています。そのためにも、附属高校で色々なことに挑戦し、充実した高校生活を送れるように頑張ります。

附属高等学校 食物科 宮田 佳奈

# 卒業 339名が新たな一歩

大学院第23回、大学第49回、短大第67回、専攻科第17回の学位記授与・卒業式が3月18日、建学記念講堂で行われた。この日集立したのは大学院修士課程3名、大学84名、短大249名、専攻科3名の計339名。

関口修学長から学位記および卒業証書が各科総代に手渡された。関口修学長は告辞として「卒業おめでとう。大学で学んだ知識をこれから社会生活に役立て、一人の女性として輝いてください」と述べた。

来賓の郡山開成学園家族会日向恵子会長、郡山女子大学同窓会名倉美恵子会長の祝辞に続いて、附属高校を代表して樋口あやさん、附属



幼稚園から高橋四羽ちゃんと菅野かのんちゃんがそれぞれお別れの言葉を贈った。また、大学・食物栄養学科の佐々木瞳さんが在学生を代表して送辞を述べた。そして、短大・食物栄養専攻の太田まりやさんが惜別の思いを答辞に託した。

「蛍の光」(「仰げば尊し」)の歌声が建学記念講堂に響きわたるところ、え切れずにハンカチで目頭を押さえる卒業生の姿が見受けられた。

※なお、平成29年度卒業生保護者から卒業記念として、教室用プロジェクターが学園に贈られた。設置場所…芸術館大教室、62年館642講義室、643講義室、83年館図工・絵画室。

**附属高等学校**

附属高校の第59回卒業式が、桃の節句の3月3日、建学記念講堂で厳粛に挙行された。普通科69名、音楽科6名、美術科13名、食物科27名の計115名が式に臨んだ。担任に一人ひとりが呼名され、それぞれの科の総代に卒業証書が手渡された。

次に賞状授与が行われ、学園長賞1名、学校長賞3名、皆勤賞20名、精

勤賞5名が表彰された。

佐々木貞子校長は告辞の中で、「卒業おめでとう。附属高校生としての誇りを胸に、自己の目標に向かって進んでください」と述べた。生徒会長の酒井和泉さんが送辞、卒業生代表の中山優花さんが答辞を述べた。

**附属幼稚園**

第63回附属幼稚園卒園式が、梅の花がほころび始めた3月19日、建学記念講堂で行われた。卒園児29名が賀門康博園長から「げんきで、あかるくて、てんまのびよ」と記された卒園証書をいただいた。先生方はこれからも「よくみる、よくきく、よくかんがえて」を忘れずに成長してほしいと願いながら、退場する卒園児を見送った。

また、卒園の記念として梅・白加賀)の苗木が手渡された。保護者は、

園児の成長した姿をカメラなどに収めていた。

**高体連地区予選結果**

県中地区予選

卓球

1位 伊藤 笑・國分 陽奈  
2位 小池 和妃・中村 絢  
3位 伊藤さやか・酒井 夏海  
3位 高橋 海里・若松 優希

シングルス  
1位 伊藤 笑  
2位 國分 陽奈  
3位 中村 絢

ベスト8  
高橋 海里・若松 優希

県大会出場  
小池 和妃・遠藤 楓花  
柳沼 麻紀・酒井 夏海

県南地区予選

ハンドボール  
第1位

バレーボール  
第1位

剣道  
第2位

団体 第2位

個人

第3位 小林 恭子

県大会出場  
大越 亜季・平 業菜

陸上

円盤投 第7位 堀田 美紅  
\*県大会出場  
\*やり投 第8位 板橋 みなみ  
\*県大会出場  
\*県大会出場 堀田 美紅  
\*県大会出場 今井 千愛  
\*県大会出場  
1年4×100mR 第8位  
\*県大会出場  
走幅跳 片寄 沙紀  
\*県大会出場

テニス

団体 県大会出場  
安部 里奈・波多野 亜優  
時田 五葉・柳沼 紀花里  
富山 唯那

弓道  
第7位 柳沼 萌

個人  
第7位 柳沼 萌

県大会出場  
齋藤 美涼・鈴木 美月

**附属高等学校**

平成30年度郡山女子大学附属高等学校第62回入学式は、4月10日挙行された。

新入生は普通科83名、音楽科15名、美術科9名、食物科41名の計148名。式はコラルの「すべての宝にまざる宝」の演奏で開幕。

各担任から一人ずつ呼名され、佐々木貞子校長から入学が許可さ

れた。校長は式辞で「尊敬・責任・自由の建学の精神をよく理解し、勉学に、スポーツに励み、自分を高めてください」と述べた。

来賓の祝辞のあと、在校生を代表して酒井和泉さんが歓迎の言葉を述べた。新入生を代表して、食物科の山口紗英さんが、はつとつした元気な声で「自分で考え、物事を追究し、社会貢献に寄与できる女性を目指します」と誓った。

**附属幼稚園**

第64回を迎えた附属幼稚園の入学式が4月12日に行われ、新入園児が期待を胸に新たな第一歩を踏み出した。

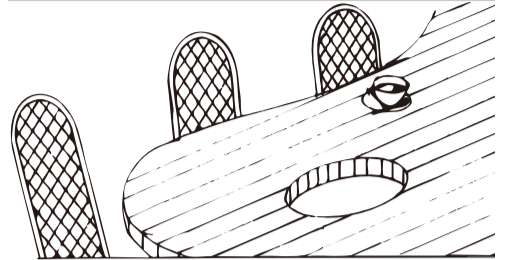
新入園児たちは、一人ずつ名前を呼ばれると、大きな声で返事。賀門園長が「元気がいっぱいよく遊んでください」と挨拶。在園児から手作りの首飾りがプレゼントされ、新入園児たちは明日からの幼稚園生活を楽しみにしていた。

多くの来賓が紹介された後、新入生を代表して、短大・幼児教育学科の渡邊柚芽理さんが「本学の学則を守り、その教育方針に従い、学生として学問と教養を備えた女性を目指します」と誓いの言葉を述べた。

多くの来賓が紹介された後、新入生を代表して、短大・幼児教育学科の渡邊柚芽理さんが「本学の学則を守り、その教育方針に従い、学生として学問と教養を備えた女性を目指します」と誓いの言葉を述べた。

# テイルーム

コミュニケーション・フォーラム



## 一つの情景

堀田 雅明

一つの情景がある。

いまから二十余年前、大学2年次であった筆者は、図書館か恩師の研究室をもつばら居場所としていた。その日もいつものように研究室へ通い、恩師から歴史研究に関するさまざまな話を伺っていたが、突如に一冊の書物に話題が及び、そのあとがきを讀んだことがあるかを問われた。その書は、杉山博先生による『庄園解体過程の研究』（東京大学出版会、1959年）であった。杉山先生は、恩師の師にあられる歴史研究の大家である。さて、そのあとがきには、莊園史や村落史を研究するためには「お百姓のことがわからなければ」ともとても本当のことは、分かりません」とあった。

筆者は、日本中近世移行期の政治史・法制史・古文書を専攻していた。当然、社会構成の多数派である村と農民たちのことも対象に関わってくる。果たしてその後、いくらかのささやかな論文を世に問う機会を得てきた。しかし、いくらか史料を讀みあさり理解に努めても、農業経験がまったく疎遠であった筆者には農村を叙述するにも結局は机上論に寄り、本質に迫りつけないものであ



杉山 博 著 『庄園解体過程の研究』

つたに違いない。本質を知るためには、実験的に実感を得なければむずかしい。

いま、郡山に縁を得て、一反の田を所有した。筆者はほとんど戦力外に近いが我が家で自作し、毎年一年分の米を確保している。自然に翻弄されながらも、ついに自然の恵みを得る。その過程でなんと多くの労力を要することか。時折、古の農村風景と農民たちに思いを馳せ、時代は遠くまで共感できるような錯覚を覚える。日常に忙殺され、歴史研究を通して恩師の学恩に報いる環境に身を置けずにはいるが、いま、ようやくにして実感的に歴史観を考へることができるようになったように思う。

そういういえばあつたとき、恩師は杉山先生のとがきの存在こそ示してくれたものの内容には一切触れなかった。自身で気づかせることでおのずと研究手法に対する助言を呈してくれていたのである。翻つてみれば、私にとって視座を得た場面であった。

(附属高校教諭)

## 健康づくりフォーラムに参加して



短大 健康栄養学科2年 岩崎 志緒理

皆さんは、健康づくりのためにどのような事をしていますか。健康のためには、栄養と運動、休養が大切

です。私は「栄養のバランスのとれた食事」を意識することが大切だと考えています。その考えから『バランス弁当』に興味があり、サークルに入部しました。

さて、私達サークルメンバー7人は、3月4日(日)にビッグパレットふくしまで開催された『健康づくりフォーラム』に健康弁当販売を目的として参加しました。このイベントでは、福島県立医科大学健康増進センターが主催となり、企業や大学、団体など多くの出展がありました。中でも健康づくりに関する講演や相談、血圧や骨密度の測定等のブースは大変人気があり行列ができていました。

健康栄養学科では、塩分控えめ『ふくしま適塩弁当』を150個販売しました。食材本来の美味しさを大切に、栗やさつまいもなどを使用し、やさしい味に仕上げた三色のおにぎりは、子どもから高齢者まで食べやすいように形と量を調整しました。1個400円のお弁当は、2時間で完売することができました。皆さん笑顔でお弁当を手にとってください。また、このお弁当を食べて食生活の改善に少しでも興味を持つていただけたら嬉しいです。

## 全日本ジュニア強化合宿に参加して



附属高等学校 普通科3年 目黒 愛梨

私は2018年全日本バレーボールジュニア(U19)の候補選手に選出され、強化合宿に参加してまいりました。全国から集められたトップレベルの選手と同じカテゴリーでバレーボールをし、アスリートとしての自覚と責

任のある言動を心がけなければいけないと再確認しました。

「全国で勝つ」ではなく「世界で勝つ」という意識を強く持つ、私がいまで想像できなかったレベルでプレーできたことは、私にとって大きな自信に繋がりました。そして何より、同じ年代の選手たちがバレーボールについてどのような考えを持っているのか、どれ程のエネルギーでバレーボールと向き合っているのかなど、他の選手の外見的な部分だけでなく、内面を知ることができました。また同時に、自身のバレーボール技術のレベルを身をもって知ることができました。

今回の合宿で教えられた内容や専門用語などは、附属高校バレーボール部の佐藤浩明先生から教えられてきたことに近かったので、改めて私が附属高校バレーボール部でやってきたことは、世界に通用するトップレベルな内容だったのだと実感することができました。

今回の合宿を通して、自分の実力や足りないこともよく知ることができました。今後は、学んだことを活かし、より大きく成長できるように、日々の練習に励んでいきます。

## 私の本棚

### 『なぜ、地形と地理がわかると幕末史がこんなに面白くなるのか』

大石学監修 (洋泉社二〇一七年)

郡山女子大学短期大学部 地域創成学科 講師 佐藤 愛未

2020年に東京オリンピックが開催されます。

現在、日本の首都は東京ですが今から約150年前までは京都がそうでした。当時は「上京する」というと京都へ行くことを意味し、東京(江戸)へ

今年も新学期が始まり、考古学発掘実習の準備中です。5月12日から18日目の笹山原遺跡の考古学実習発掘を行います。

が居住していました。猪苗代湖畔のこの地は、平安時代には土師器生産集落、縄文前期には小規模定住集落、旧石器時代は狩猟拠点キャンプ地として利用されてきました。18年の調査により、それぞれの時代の人々が遺跡でどのようなことを行っていたのかを考古資料を用いて実証的に示すことができるようになってきました。

## 生活診断室 シリーズ 60

### 笹山原発掘18年

郡山女子大学短期大学部 地域創成学科

教授 會田 容弘

今年も新学期が始まり、考古学発掘実習の準備中です。5月12日から18日目の笹山原遺跡の考古学実習発掘を行います。

この開成学園の周辺はかつて、安積開拓事業の中心地でした。身近な場所に注目すると、意外な歴史やそこに存在する理由が隠されていて、少し視点を変えただけで面白い発見があるかもしれません。

向かうときは「出府」「東下」とされており、江戸(東京)へ移ったのでしょうか? そのほか暗殺事件や、戦が起った場所など人間関係だけ追っていくと理解しにくいことも多いのですが、視点を場所(地形や地理)にうつしてみると案外そこで起るべくして起った出来事もたくさんあります。歴史が動くとき5W1H(いつ、どこで、だれが、なにを、なぜ、どのようにして)が絡み合い様々な事象が発生していきます。これは幕末史に限ったことではなくどの時代も同じです。

来事や事件、もちろん私たちの身近な出来事も同様です。それに私たちが何気なく生活しているなかにもその土地の歴史に知らずに触れていることがあるかもしれません。道端の石碑や街中に建つ大きな鳥居、野原や畦道だと思っていた古戦場、繁華街から少し離れたお菓子屋さんが老舗であったなんてこともあります。それにこの開成学園の周辺はかつて、安積開拓事業の中心地でした。身近な場所に注目すると、意外な歴史やそこに存在する理由が隠されていて、少し視点を変えただけで面白い発見があるかもしれません。

# ようこそ 郡山開成学園へ

## 新任教職員の皆様のご紹介

### 郡山女子大学

(4月1日付)

〔本採用〕



**関川 悦雄** 教授  
日本大学大学院教育学専攻  
攻博士課程単位取得満期  
退学  
F M東京においてラジオ  
講座担当  
所属 大学・人間生活学科



**山本 裕詞** 教授  
東北大学大学院教育学研  
究科博士後期課程  
桐生大学医療保健学部栄  
養学科教授  
所属 大学・人間生活学科



**大西 弘太郎** 教授  
九州大学大学院医学系研  
究院病態医学部門微生物  
免疫学講座寄生虫学分野  
専修生  
阪神医療生活協同組合医師  
所属 大学・食物栄養学科

### 附属高校

〔本採用〕



**深谷 純子** 教諭  
青山学院大学文学部史学  
科卒  
平成25年から期限付講師  
所属 附属高校・地理歴史



**岡崎 友亮** 教諭  
福島県立医科大学大学院  
医学研究科医科学専攻修  
士課程修了  
平成27年から期限付講師  
所属 附属高校・理科

### 期限付雇用職員



**近内 直美** 講師  
郡山女子大学家政学部  
生活経営学科生活福祉  
コース卒業  
日本知的障害者福祉協会  
社会福祉士養成所卒  
平成29年度から大学・短  
大非常勤講師  
所属 大学・人間生活学科



**高橋 徹** 准教授  
岡山大学大学院自然科学  
研究科生産開発学専攻博  
士課程修了  
福岡女子大学国際文学学  
部食栄養学科  
所属 大学・食物栄養学科



**星 千歳** 講師  
郡山女子大学家政学部食  
物栄養学科卒  
福島県職員再任用  
南会津病院勤務  
所属 大学・食物栄養学科



**伊藤 央奈** 講師  
福島県立医科大学大学院  
医学研究科医科学専攻博  
士課程修了  
福島県市町村立栄養教諭  
所属 大学・食物栄養学科



**吉田 朱里** 助手  
郡山女子大学食物栄養学科卒  
所属 大学・食物栄養学科



**深谷 悠里絵** 講師  
福島大学大学院人間発達  
文化研究科地域文化創造  
修士課程修了  
ピアノ教室主宰  
所属 短大・音楽科



**沼田 春香** 助手  
(学務担当)  
郡山女子大学短期大学部  
幼児教育学科卒  
学校法人栄光学園  
所属 短大・幼児教育学科



**國井 佳那子** 職員  
郡山女子大学短期大学部  
専攻科文化学専攻卒  
所属 図書館



**渡辺 峻大** 講師  
上越教育大学院学校教育  
研究科修了  
所属 附属高校・数学



**平山 早織** 講師  
山形大学地域教育文化部卒  
学校法人会津若松サベリ  
才学園常勤講師  
所属 附属高校・英語



**本多 恭子** 講師  
奥羽大学文学部英語英文  
学科卒  
鏡石中学校講師  
所属 附属高校・英語



**高森 奈々** 教諭  
郡山女子大学短期大学部  
幼児教育学科卒  
所属 附属幼稚園



**村上 利男** 職員  
関東調理師専門学校卒  
所属 学生食堂



**石橋 悟** 職員  
日本調理師専門学校卒  
株式会社カネキ  
所属 学生食堂

### 昇任

大学教授  
難波めぐみ／熊田伸子／菊池節子  
大学准教授  
阿部恵利子／堀琴美／佐藤浩明／黒澤廣子  
短大教授  
水野時子／知野愛／横溝聡子／磯部哲夫／桑野聡／會田容弘  
短大准教授  
永瀬悦子／伊藤哲章／松田理香／山口猛

### 助教

柳沼和子(大学)／仲西真美子(短大)

### 平成29年度で退職された方々

3月末日で、次の方々が郡山開成学園を退職なさいました。  
これまでのご尽力に心から感謝し、今後のご活躍、ご健闘をお祈り申し上げます。

短大  
佐々木淑子／相楽句子／鈴木正  
渡辺秀行／三善瑠美／佐藤明教

短大  
斎藤理沙／石村由美子／野沢謙治  
田辺真弓／深谷登喜子  
古山幹雄／長谷川晴香

大学  
紺野信弘／武井玲子／小阪康治／石堂常世／武地誠一／佐久間邦友  
藤原健樹／先崎和子／坂野史明  
添田祐司／中村千晶

事務局  
澤井美恵子／遠藤幸子／森みい

# NEWS 学園ニュース

## 春高バレー 2年連続初戦突破

第70回全日本バレーボール高校選手権大会(春高バレー)が1月4日から、東京体育館で行われ、2年連続19度目出場の附属高校バレー部は、1回戦高知南(高知)に2-0でストレート勝ちした。  
立ち上がりレシーブのミスなどで6点を連取されたが、橋本菜々、目黒愛梨の強烈なスパイクなどで追い上げ、25-21でセットポイントを奪った。第2セットは立ち直った附属高校の一方的な試合となり、25-11で2年連続初戦を突破した。



熱戦をくり広げた中学生

第2位 安積第二中学校  
第3位 大槻中学校

## インスタントラーメン オリジナル料理コンテスト 2018

準優勝 深堀 舞(高2)  
第31回きのこ料理コンクール  
飯村菜月さん入賞  
第31回きのこ料理コンクール大会がこのほど行われ、3月に附属高校を卒業した飯村菜月さんが、日本特用林産振興会長賞と日本農業協同組合連合会長賞を受賞した。

第29回郡山女子大学附属高等学校長杯  
第29回附属高等学校長杯  
中学女子バレーボール大会  
第29回郡山女子大学附属高等学校長杯中学校女子バレーボール大会は2月18日、附属高校体育館にて開かれ、県内から8チームが出場、白熱した試合を繰り広げた結果、福島第三中学校が優勝した。  
第1位 福島第三中学校

## 先輩を訪ねて



あやね 礼音 さん  
平成28年度  
短期大学部音楽科卒業

4歳位からピアノを習い始め、高校3年生の時に岡部富士夫先生に師事したのをきっかけに、短大の音楽科に進んだという大河原さん。「短大時代は、ひたすらピアノを練習してましたね。友達と遊んでいても、頭の隅で、ピアノ練習しなきゃって思っていました。」  
音楽科のクラスは全部で7人、そのうちピアノは2人だったので他の5

## 平成29年度郡山市 農業奨励賞受賞

学校法人郡山開成学園は、JA福島さくらと包括的連携協定を締結し、市内遊休農地での農業体験事業に学園全体で取り組むなど、農業を通じた地域の活性化に貢献したとして、2017(平成29)年度郡山市農業奨励賞を受賞した。

## 開成いすず会(名倉惠子理事長) 親睦交流会 開催される

第1回開成いすず会「お花見アフタヌーンティー」が4月25日、学生会館で開催された。

開成いすず会は大学・短大・附属高校の3同窓会の連携強化を図るために4月1日から活動、事業の速やかな情報発信を行っている。アフタヌーンティーには30人が参加。少し遅れた花見を楽しみ、絆を深めた。名倉理事長は、「今後も交流会を計画しているので、皆さんご参加ください」と呼びかけた。

人の伴奏を2人で担当しなければならず、その分たくさんの曲を覚えたり練習が大変だったそうです。「苦労もありましたが、充実した2年間でした。」  
卒業後、東邦銀行に就職。須賀川東支店で窓口業務を担当しています。「すごく悩みましたが、音楽は趣味で続けていこうと思ひ、土日が確実に休める仕事に就きました。友人の演奏会などで伴奏を頼まれても、土日なら引き受けられるからと、今もピアノの練習は欠かさないそうです。

最後に、「やりたいことをあきらめず、コツコツ努力すればきっと実るので頑張ってください」と、大河原さんから後輩の皆さんへ応援メッセージをいただきました。

### 心をこめて 田植えに挑戦

本学園が今年も田植えを行った。短大・健康栄養学科、附属高校・食物科、附属幼稚園の園児ら220人が参加。JA福島さくららの協力で日本の主食である米の生産過程を学んだ。宗形義久郡山地区本部長、関口修理理事長、佐々木貞子校長の挨拶の後、作業に先立ち、短期大学部健康栄養学科2年高野尾嶺さん、附属高校3年阪谷うるさんが、「全員で心を込めて苗を植えます」と誓った。生徒らは、JA職員から指導を受けながら苗植えの目印を付ける「がじ引き」を体験した後、20㎡の田んぼに苗を植えた。生徒らは、青空の下、泥だらけになりながら、9月下旬の収穫を楽しみにしていた。



手植えに挑戦する生徒ら

### 小松准教授が 最高賞受賞

第68回モダンアート展の最高賞となる損保ジャパン日本興亜美術財団賞・優秀賞に、会友で本学・短期大学部地域創成学科小松太志准教授の作品が選ばれた。

小松准教授の作品「quiet forest」は写真と三次元CG、墨の筆跡を素材にコンピュータで制作した。小松准教授は「これからも積極的に制作に取り組みたい」と語った。今回の受賞に伴い準会員に推挙された。



最高賞に輝いた作品の前で 小松准教授

また、附属高校美術科、並びに短大生活芸術科の八幡欽子さんの作品「森のもりびと」も佳作賞に選ばれた。モダンアート展は4月3日から15日まで東京・上野の東京都美術館で開かれた。

### 附属高校の制服が リニューアル!



新しい制服をお披露目

### 郡山女子大学 お弁当発売

大学食物栄養学科と包括連携協定を結んでいる、JA福島さくらと共同開発したお弁当が完成し、4月21日から27日まで、JA福島さくら旬の庭久留米店、ごちそう館で販売された。売り出されたのは宗像千聖さん考案の「彩野菜の酢豚弁当」と、丹内美保さんの「美つくり弁当」で、価格はそれぞれ500円(税込)。1



お弁当をPRする丹内さん(左)と宗像さん

### グローバル・レディ育成ツアー 参加者募集

姉妹校であるハワイ州立大学マウイコミュニティカレッジ協力のもと、郡山女子大学・同短期大学部のオリジナル研修プログラムです。一般的な語学研修では体験できない、様々なアクティビティが満載です。この研修を通して、「語学」のみならず「異文化対応力」や「主体性実行力」など、真のグローバルレディ(人材)の育成を大学がサポートします。



詳しくは生涯学習・国際交流委員会 安田先生(内線255)へ。

### BOOK 郡山女子大学 大学図書館

新しい本が届きました... 第7回



『菅家喜六  
「世界一周記」』  
菅家喜六著,  
菅家喜六先生  
「伝記」刊行会編,  
柘植書房新社  
請求記号 290.9||Ka

### 『キャリア形成支援の方法論と実践』

菅原良[ほか]著,  
東北大学出版会  
請求記号  
366.29||Su



『ベストをつくす  
教育実習』  
筒井美紀,  
遠藤野ゆり著,  
有斐閣  
請求記号 373.7||Tu

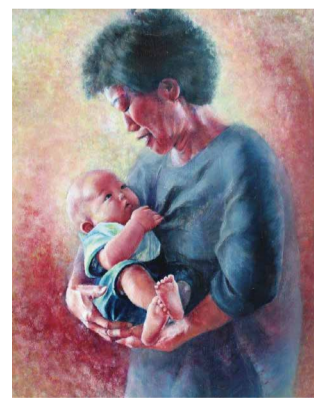
『広辞苑』  
第七版  
新村出著,岩波書店  
請求記号  
813.1||S||1-7



### 紙上美術展 85

### 美術科 JA福島さくら内 「さくらギャラリー」 にて展示中

平成29年度郡山女子大学附属高校美術科卒業作品展において展示発表した油彩画専攻者の作品です。この2点の作品は現在、JA福島さくら内に新設された「さくらギャラリー」に展示されています。一般の方も入館できますのでご覧いただければ幸いです。



かさい ゆか  
葛西 由佳

### 「あたたかい鎖」

F80号

家族愛をテーマにして描いた作品です。祖母といふこの子供の姿を描きました。私が幼い頃も同じように祖母にあやしてもらっていたことに家族の愛を深く感じて、作品で表現しようと思いました。



やぎぬま しおり  
柳沼 詩織

### 「懊悩と憧憬」

F50号

単独でも逞しく生きることができるモズと、群をなして集団で生きるフラミンゴを対象的に描きました。どちらの生き方にも憧れを感じますが、どちらの生き方もできないという心の葛藤を表現しました。

### 木もれ陽

お気に入りの楽曲「12のソルシカの歌」について。「ソルシカ」は地中海にある現フランス領の島である。歌は地中海の多様な民族色が入り混じり、エスニックな気分が味わえる。

楽曲との出会いは高校の頃で、エアチェックしたカセットで聴いていた。レコードは廃盤で入手出来ず、後に同曲のCDを入手した。聴いてみて愕然。音質はリアル。カセットでエアチェックしたものとは雲泥の差なのだが、雑音にまみれたカセットの演奏が圧倒的に陶酔できる。違いは残響音。中世西洋芸術は宗教世界の表現を根底に教会建築と絡み発展してきた。合唱曲は、天使が飛び交い人々が

天に召される奇跡の再現で響きが教会天井に向かって煌びやかに揺らいでいくものなのである。カセットの演奏は正に天国世界が表現されていた。だがCDにはこの響きがない。歌っている気配は物理的にリアルで音質は良い。しかし芸術は現実世界の正確さを模して感動を生むものではない。日々通学時に見かける駐車場や赤信号は生の視覚体験としてリアルであるが日々感動を与えてくれているだろうか？

この演奏は感動が生まれるためには自然の奇跡や人為的だが魅惑的な魔法が必要であることを教えてくれている。

(七)